

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第022号

令和3年9月24日(金)発行

お彼岸を迎え、朝夕はずいぶん過ごしやすくなってきました。実力考査を終えたばかりですが、9月も下旬となり、共通テストの出願期間が9月27日～10月7日と間近に迫ってきました。また、公務員や一般企業の就職試験、大学・短大・専門学校の推薦入試等の出願も始まっています。

いまここで大事なことは、3年生のみならず1・2年生も協力して、新型コロナウイルスを「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」という強い自覚のもと、具体的には、3密の回避、マスクの着用、手洗いの励行という基本的な対策の実践を継続しましょう。全校生徒・職員が一丸となって協力することで、この前代未聞のコロナ禍という難局を乗り越えましょう。

学校行事スナップ写真販売中

写真販売

1～1224 1枚100円

1～720 体育祭(1年～3年)

3 721～912 クラスマッチ・913～957 遠足

年 958～1048 部活動・1049～1224 文化祭



体育祭をはじめ、文化祭などいくつかの学校行事のスナップ写真の販売が期間限定(今月いっぱい)で行われています。見本写真は、2階脱靴場から図書館に向けた壁面に掲示中です。欲しい方は、忘れずに注文して下さい。

2年生講演会

令和3年9月15日

『企業が欲しい人材・欲しくない人材』

講師 筈山 智広 氏

株式会社Misumi 総務部長兼人事課長



株式会社Misumiの紹介と時折ジョークを交えた楽しい講演が始まりました。本題の企業が欲しい人材と欲しくない人材については、長年企業で採用を担当している方だからこそ言える内容で、生徒達にとって新鮮な学びだったと思います。

- ・職場はコミュニケーションが大事かつ、素直な方がいい。(気持ちのいい返事とあいさつ)
- ・「一緒に働きたいと思える人を採用する」
- ・「コツコツ真面目・指示されたことだけする → AIに取って代わられる」
- ・「生まれ育った街で働ける素晴らしさを知って欲しい」

コミュニケーションを考える

先日の2学年講演会にあった「コミュニケーションが大事!」とは、どういうことが出来てほしいのでしょうか。単に、自分はおしゃべりが上手だけでは、コミュニケーション能力が備わっているとは言えません。大事なのは、「相手の話をちゃんと聞けること」ということでした。

では、具体的にはどのようにすれば、上手なコミュニケーションがとれるようになるのか。まずは、コミュニケーションの必要性について考えてみます。

①人間関係を築くため

自分を知ってもらうことだけではなく、相手側のことを理解することが必須です。仲が良くなるために、お互いのことを理解し、積極的に話しかけることになります。

②情報の交換・共有をするため

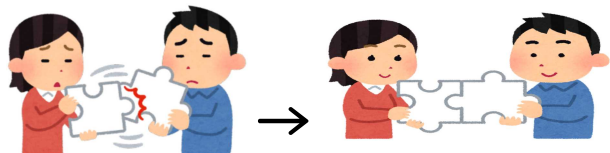
人と人のコミュニケーションの目的の1つは、お互いの知らない「新たな情報」を得ることです。「報告・連絡・相談」を通じて「新たな情報」を得ることになります。

③相手に働きかけるため

人とコミュニケーションをするには、誤解はつきものです。真実を(その方向性を)理解してもらうために、相手を導き促す=働きかけをする=「説得」をすることになります。

相手と協力することも「相手に働きかける」ということになります。「情報の交換」や「人間関係を築く」ことが大切です。その他にも、コミュニケーションには、相手に指示や命令、依頼することもあります。

コミュニケーションの目的を理解できれば「必要性」に必然的に繋がります。逆にいえば、コミュニケーションをすることをしなければ、良好な人間関係を築くことができず、情報を共有して「新たな気づき」を得る機会もなくなるということになります。



次に、具体的に話し上手になるためには、次のように相手のことを考えることが必要です。

①相手へ興味・関心を強く持って、気持ちを読み取ろう

相手に関心がないということは、自分だけのことを考えている傾向にあります。相手がどのように物事を考えているのか、経験や情報、感情を読み取って関心を強く持つことが大切です。

②相手との一体感を大切にしよう

例えば「仕事内容」や「出身地」が同じなど、コミュニケーションをする際に共通な話題があるはず。趣味の話しや、新たに体験した話などを共有していくことでお互い「一体感」ができ、親近感や安心感、好意を持ちやすい

③相手の話しを良く「聴く人」は話し上手である

相手の話しを聞くことができる人は、話すことがよくできる人です。相手の話しを「聴き」ポイントを拾って、情報を広げる

④相手に分かりやすく話すこと

自分の知っている情報を相手に伝えるためには、分かりやすく話すことが大切。「あれ」とは何なのか、「こうやってする」とはどのようにするのか具体的に示してあげることがコミュニケーションでは重要です。

